

令和元年度 第5回 教育委員会議事録

1 開催日及び場所

令和元年10月17日(木) 午前10時30分から正午
伊自良南小学校 会議室

2 議事日程

日程第1 前回議事録の承認

日程第2 議事録署名者の指名

日程第3 教育長の報告

日程第4 議事

報第10号 県費負担教職員の任命の内申の専決処分の報告について

報第11号 山県市教育委員会事務局及び教育機関の職員の任命の専決処
分の報告について

議第9号 1件1,000万円以上の工事の計画を策定することについて

議第10号 学校ICT化に向けた今後の整備計画について

日程第5 その他

3 出席者

教育長 服部 和也

教育長職務代理者 大野 良輔

委員 千葉 純

委員 川田 八重子

事務局 学校教育課長 鬼頭 立城

図書館・文化の里館長 山田 和哉

学校教育課 恩田 拓充 衣笠 みつ美

4 欠席者

委員 水谷 早苗

5 会議次第

(午前10時30分 開会)

教育長 　　ただ今より、令和元年度第5回教育委員会を開催いたします。日程第1、前回議事録の承認について。事務局に説明を求めます。

事務局（恩田）　それでは、資料1をご覧ください。前回の議事録の案となりますが、委員の皆様には、前もって送付させていただいておりますので、要点のみ説明させていただきます。令和元年度、第4回教育委員会を令和元年8月29日、木曜日、午前10時から午後1分まで、山県市図書館、実習室において開催いたしました。出席者は、教育長、委員4名、及び事務局6名でした。会議は、前回議事録の承認、議事録署名者の指名があり、議事として、報告案件、4件のうち報告のみである1件以外の3件を承認し、議案5件を議決いたしました。その後、事務局よりの諸般の報告と教育長の報告を行いました。以上でございます。

教育長 　　ただの説明につきまして、ご意見ご質問等ございましたら、お願いします。ご意見等も無いようですので、前回議事録を承認することよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

教育長 　　異議なしと認めまして、前回議事録を承認いたします。続きまして、日程第2、議事録署名者の指名について、今回は、千葉委員を指名します。

千葉委員 　　はい。

教育長 　　続きまして、日程第3、教育長の報告についてですが、日程第4の議事の後、事務局からの諸般の報告とあわせて行いたいと思いますので、よろしく願いいたします。続きまして、日程第4、議事に入ります。報第10号、県費負担教職員の任命の内申の専決処分の報告について及び報第11号、山県市教育委員会事務局及び教育機関の職員の任命の報告についてを一括して議題とします。事務局に説明を求めます。

事務局（恩田）　それでは、まず資料2をご覧ください。報第10号、県費負担教職員の任命の内申の専決処分の報告について。山県市教育委員会教育長事務委任規則第5条の規定により、令和元年9月2日、下記のとおり専決処分したので、同条第2項の規定により報告し、その承認を求める。令和元年10月17日提出。山県市教育委員会、教育長、服部和也。下記に専決処分書がございますが、富岡小学校の産休補充のため、急きょ代理の講師の任命を内申する必要がございましたので、専決処分を行ったものでございます。続きまして、資料3をご覧ください。報第11号、山県市教育委員会事務局及び教育機関の職員の任命の専決処分の報告について。山県市教育委員会教育長事務委任規則第5条の規定により、令和元年9月30日、下記の

とおりの専決処分したので、同条第2項の規定により報告し、その承認を求める。令和元年10月17日提出。山県市教育委員会、教育長、服部和也。下記に専決処分書がございますが、令和元年10月1日付けで市長部局の発令と合わせて教育委員会事務局職員の人事異動がありましたことと、新しく設けました文化の里の教育嘱託員について、雇用手続を迅速に行うため、専決処分を行ったものでございます。以上でございます。

教育長 　　ただ今の説明につきまして、ご質問等ございましたら、お願いします。

大野委員 　　いま教職員は各学校とも定数を満たしている状況ですか。

学校教育課長 　　美山小が足りていない状況ですので、緊急的にスクール・サポート・スタッフを配置して対応しております。

教育長 　　ほかにご質問などございませんか。それでは、ご質問が無いようですので、お諮りします。報第10号、県費負担教職員の任命の内申の専決処分の報告について及び報第11号、山県市教育委員会事務局及び教育機関の職員の任命の報告について、ご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

教育長 　　異議なしと認めまして、県費負担教職員の任命の内申の専決処分の報告について及び山県市教育委員会事務局及び教育機関の職員の任命の報告について、承認いたします。続きまして、議第9号、1件1,000万円以上の工事の計画を策定することについてを議題とします。事務局に説明を求めます。

事務局（恩田） 　　それでは、資料4をご覧ください。議第9号、1件1,000万円以上の工事の計画を策定することについて。1件1,000万円以上の工事について、別紙のとおり計画を策定するものとする。令和元年10月17日提出。山県市教育委員会、教育長、服部和也。今回計画する工事は、財源として起債が充当できることを条件としていたため保留となっていたもので、起債の充当が可能となったことにより実施するものです。まず、梅原小学校屋内運動場天井改修工事についてですが、梅原小学校屋内運動場は、昭和61年に社会体育施設として建てられたもので、平成15年に学校の屋内運動場に転用されました。国の学校施設環境改善交付金を活用して、平成24年に防災機能強化としてガラスフィル貼り工事、平成25年に大規模改造としてトイレ改修、洋式化の工事を実施しておりますほか、今までに修繕が必要な場合は、適宜、市費による補修を行っております。今回は、天井の断熱材が剥がれ落ちてきているため、天井の改修工事を行うものです。続きまして、伊自良南小学校校舎屋上防水シート改修工事ですが、伊自良南小学校校舎は、昭和57年に建設され、同じく国の学校施設環境改善交付金で、平成24年にガラスフィル貼り工事、平成26年に

トイレ改修工事を実施し、平成29年には大規模改造としてエアコンの整備工事を実施しておりますほか、こちらも今までに修繕が必要な場合は、適宜、市費による補修を行っております。今回は、校舎屋上防水シートに破れや剥がれがあり、3階の複数箇所です。雨漏りが発生しているため、根本的な解決のため、防水シートの全面的な張替工事を行うものです。今回の工事は、全額市費とはなりますが、参考に記載してあります大桑小学校ランチルーム屋根改修工事とともに、公共施設等適正管理推進事業メニューで起債対象とし、工事費の90%が充当率となり、30～50%が地方交付税の算入率にカウントされることとなります。以上でございます。

教育長 　ただ今の説明につきまして、ご意見、質問等ございましたら、お願いします。

教育長 　ご質問などございませんか。それでは、ご質問が無いようですので、お諮りします。議第9号、1件1,000万円以上の工事の計画を策定することについて、原案のとおり議決することに、ご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

教育長 　異議なしと認めまして、1件1,000万円以上の工事の計画を策定することについて、原案のとおり議決いたします。続きまして、議第10号、学校のICT化に向けた今後の整備計画についてを議題とします。事務局に説明を求めます。

事務局（恩田） 　それでは、資料5をご覧ください。議第10号、学校ICT化に向けた今後の整備計画について。学校ICT化に向けて、別紙のとおり今後の整備を計画するものとする。令和元年10月17日提出。山県市教育委員会、教育長、服部和也。令和元年6月に学校教育の情報化の推進に関する法律が公布、施行され、その中に、市町村は学校教育の情報化の推進に関する施策についての計画を定めるよう努めなければならないとされておりますので、今回令和2年度と3年度の計画を作成しました。次のページが各年度、項目ごとの詳細な表となっております。その次のページが計画の概要となっておりますので、こちらで説明させていただきます。まず①としまして、普通教室への大型提示装置、電子黒板の常設と指導用デジタル教科書の全学年主要教科の整備、②が中学校指導用コンピューターの整備、パソコン教室のパソコンの更新、③がアクティブ・ラーニングや個別最適化された学習の実施に向け、実証校にて1人1台タブレット環境等の整備となっております。下記の表はそれぞれの整備項目の現状と整備目標、概算費用が記載してありまして、該当する番号が前のページの表に記載してあります。次のページは、文部科学省が示している、ICT環境の整備方針で目標とされている水準となっております。最後のページは、

山縣市周辺の市との整備状況の比較表となっております。以上でございます。

教育長 　　ただ今の説明につきまして、ご意見、質問等ございましたら、お願いします。

千葉委員 　　デジタル教科書と学習用のタブレットとの違いは何ですか。

学校教育課長 　　デジタル教科書はパソコンにインストールするソフトになります。そのデジタル教科書を大型提示装置などに表示して授業を進めるということになりまして、それを学習用のタブレットに反映させるということも可能ではあります。

教育長 　　現況ではデジタル教科書は教師用となります。

川田委員 　　小学校のタブレットは、最大の人数分を配置しているということでしたが、最大のクラスの人数に合わせているということですか。

学校教育課長 　　はい。40人のクラスがあれば40台を配置してありますし、小規模校で、1クラスの人数が少なければ、その人数に合わせて配置しております。ただ、1学年に2クラスあるような学校では、同時に使用することができません。

大野委員 　　デジタル教科書は、当然教科書に準じたものでしょうから、教科書を発行している会社のものとなりますか。

学校教育課長 　　はい、そのとおりで指導用も同じものとなります。

大野委員 　　令和3年度の中学校への整備で一応完了するのですか。

学校教育課長 　　デジタル教科書は、毎年ライセンスで購入しなければなりません。

大野委員 　　大型提示装置などは、令和3年度に完了するというのですか。

学校教育課長 　　計画通り予算が認められればですが。

大野委員 　　今日の授業視察でWi-Fiの接続が遅いように感じたのですが。速度が遅いと授業に影響があるのではないですか。

学校教育課長 　　事前に何度か接続していれば大丈夫ですが、いきなり接続したりすると動画などが遅くなったりします。

千葉委員 　　そのようなことも考慮して、無線LANを整備していくということですか。

学校教育課長 　　かなりよい無線LANを使ってはいるのですが、おおもとに難点があるところもあります。各教室に有線でLANを設置してありますので、そこにルーターを差し込むことで使用できるようになっています。

大野委員 　　今はタブレットが主流で、今後もこの流れが大きくなって、入力にキーボードが必要ないような時代が来るかもしれませんが、現在高校の簿記などでは、どうしてもキーボードによる入力なので、生徒によっては、そこから始めなければならないようなことが起こっています。将来はタブレッ

トだけとなるかもしれませんが、現在のところはキーボードも必要ですので、2 in 1 という選択はよいことだと思います。

千葉委員 文字を書くという機会が減っていくのが、少し心配です。これからはそういう時代になるということかもしれません。

学校教育課長 文字を書くということとデジタルの面と、両面が必要だとは思いますが。

川田委員 昔は黒板の板書を写したりして学習したのですが、電子黒板では画面の切り替えが速くて残らないので、今の子供たちはそれでも頭に残っていくのかなと思ったりします。

教育長 今の子供たちは画面を見てすぐインプットするということに日常から慣れていきますから、学習のスタイルが違ってきます。ただ学習はインプットしたものをどのようにアウトプットして残していくかというのが大事になります。ノートも今までのように黒板をそのまま写せばよいのではなく、自分で考えて書かなければなりませんから、先生もその指導をどのようにしていくかというのも課題になってきます。

千葉委員 算数の問題などができたり、できなかつたりしたデータなども残っていくことで、子供の状況を先生が把握したり、他の先生と共有したりすることで、その子にあった学習が進められるのは、よいことだと思います。

教育長 今はまだタブレットに入れるソフトが充実していませんので、できる子はどんどん先へ進むというところまではいっていません。文部科学省は将来的にはAIを入れてと考えているようですが、その時には1人に1台のタブレットが必要になるかとは思いますが。

大野委員 40人の学級でこれをやっというところだと大変で、逆に山口市くらいの規模の学級の方がうまくやっというところではないでしょうか。1年間で培ったノウハウを次の学年に引き継いでいくということが、できていくのではないのでしょうか。

教育長 そのように言っただけだとありがたいです。山口市としての特色も出していけるのではないかと考えています。

川田委員 今日の授業で、岐阜県のウェブ・ラーニングにオンラインで繋がっているのですか。

教育長 はい、そうです。どこの学校も同じようにできますし、家からでもできます。ただ、環境が整っていない家庭もありますから、学校の環境を整えることこそが、大事だと思っています。それでは、ほかにご意見などございませんか。ご意見がないようですので、お諮りいたします。議第10号、学校ICT化に向けた今後の整備計画について、原案のとおり議決することに、ご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

教育長

異議なしと認めまして、学校ICT化に向けた今後の整備計画について、原案のとおり議決いたします。続きまして、日程第3、教育長の報告についてですが、1点目は、お手元に市議会でのいじめについての一般質問への答弁を資料としてお配りしておりますが、今回の岐阜市での事案を受けて、山県市で実施したことを答弁としてお答えいたしました。特に命の尊さを実感していく教育の実践について、現在実体験を伴った学習を進めていますが、今後は中学生と関係団体との意見交換の場を設けるなども実施していきたいとお答えしました。いじめは人権問題であるという認識を持って取り組んでいますとして、岐阜市での詳細の報告がまとまりましたら、山県市としても再度検証して取り組んでいきますが、それとは別に今後は学校に教職員以外を加えた委員で構成する学校いじめ対策委員会を新たに設置して、外部からの評価を受けられるような体制を整備していく計画でおりますとお答えしました。このことについて、委員の皆様にもご理解いただきたいと思います。2点目は、山県市の教育振興基本計画の策定に関わって、お手元に試案の資料として「山県教育ビジョン2020」というものをお配りしました。学校教育については、1つ目が「凸凹を磨く」ということで、教育は同じものをつくろうというのではなく、凸凹があってもいい、それをどのように磨いていくかが教育ですので、そのようなスタンスで書いてあります。最初の教科アクティブ・ラーニングについてですが、アクティブ・ラーニングとは、主体的対話的で深い学びと言われていますが、私は、まだ深い学びまではいっていないと思っています。端的言えば、人と違う意見を言える子をつくるということだと思っていますので、そのことを実施していこうとしています。今までは一つの答えを見つけて、次に進んでいくという授業スタイルでしたが、アクティブ・ラーニングの授業はいろいろな考えが出てくる授業ということですので、山県市では、1クラスで人数分の答えが出てくるような子供たちをつくる学習をしていきたいと思っています。そのためにICTが必要でして、情報を収集、共有したり、分かりやすく伝えるにはどのようにするかを考えたりするために、ICTを活用した授業が必要になってきます。また、子供たちがラウンドテーブル的にお互いに平等に話し合う環境も必要だとも思います。学校の中に円卓のテーブルを置いて、そこに子供たちがタブレットを持ち寄り、大型モニターに自分の考えを映し出すというような、企業のプレゼンテーションのような場を設ける環境を作っていけば、子供たちは明らかに変わっていくと思います。次のSTEAM教育プランについてですが、子供たちが将来社会に出て必要となってくるのは理系の力と言われていますが、ものを作るとき、機能にデザインも加わってなければ、現実

的には売れていかないということがあるように、芸術、アートも加えて、理系に重点を置いた授業を進めていきたいとしています。そのために小学校に教科担任制を取り入れ、指導力のある先生を入れていきたいと思っています。次に異学年学習プランですが、これはイエナプランといってドイツやオランダで行われているものです。年齢に関係なく同じことを考える子供たちが集まって、そこで学習が行われていくというものです。日本では、広島、長野、名古屋で動き始めています。山口市には小規模校があり、統合の問題もありますが、その前にこのような学習方法もあるということを示していきたいと考えています。それでこれに取り組みやすいのが英語だと思しますので、最初に英語の授業から始めていきたいと思っています。2つ目の「自ら鍛える」は、部活動ですが、現在のように住んでいる場所のできる競技が限定されるというのはよくないと思っています。例えばサッカーをやりたい子がいれば、山口市サッカー部というものを作って、市内の誰でも入れるというような環境を作りたいと思っています。費用の面もありますので、すぐに全てはできませんが、徐々に進んでいきたいと思っています。3つ目の「生き方の軸をもつ」は、キャリア教育です。自立していく子というのは、結局、生き方の軸を持っている子です。悪いことに誘われても、自分の意見を言って、はっきりと断ることができる子です。そういう生き方の軸を作っていくことが大事だと思っています。キャリアパスポートというのは、文部科学省が進めているもので、自分がどんなキャリアを積んできたかをファイル化していくものですので、そのまま進めていきたいと思いますが、私としては、中学校生というのは不安定で崩れやすい時期なので、この時期に汗水垂らして働く大人達を見て、働くということがいかに大変かというのを感じてもらいたいと思っています。それでしっかりと1週間くらいの職場体験をして、働くということ考えてもらう機会を作りたいと思っています。それと今の若い子達はボランティアに対する意識が高いので、ボランティアで頑張っている子供たちを表彰していきたいと考えています。人のために生きるということは、実は自分自身が生きるということをつえさせていきたいと思っています。4つ目の「誰もが芸術家」というのは、学校はどうしても一定の尺度で評価してしまうので、美術などが嫌いになる子がでてきますから、そうではないということを示していきたいということです。次のページの生涯学習についてですが、1つ目は、山口市にはいろいろなよさがあるのに、意外にそれが外に開いていないということで、「開国」という言葉にしてみました。大桑城をテーマに山口市をどんどん外へ広げていくことで、自信を持たせたいということです。大桑城の国指定プランについては、5カ年計画で行いたいと思

ます。大河ドラマの「麒麟がくる」については、実際にはドラマへの子供の関心は低いと思いますが、この機会に、こども学芸員のようなものを組織化して、山県市の歴史に関心をもつ子供を増やしていきたいと思います。関連資料のデジタル化も重要なこととしてあげました。2つ目は「連携」としましたが、せっかく文化の里という良い財産がありながら、十分に活かされていないということで、まず子供たちに文化というものを身につけさせるため、ここ3年間くらいで子供たちと文化の里との連携を図っていきます。さらにその結果を検証して、次に繋げていきたいと思いますが、身についた文化というものは、10年、20年後にも活かされるものですので、徐々に変わってくるのではないかと思います。図書館での子育て支援との連携、美術館での子供の作品の展示、花咲きホールの舞台を使った部活動などを行ってきたいと思っています。3つ目は「ねりんピック運営」ということで、来年度岐阜県で行われ、山県市も会場となりますので、対応していきます。4つ目の「拠点機能」ですが、山県市は市の規模に比べ施設が非常に多く、そのための維持管理にも多くの費用がかかっています。公民館などを拠点に学習が行われているのですが、もっと自由に使える環境とするために、コミュニティーセンター化を検討していきます。公民館は、社会教育施設として教育委員会が教育プログラムを用意して、それを地域の方が利用しますが、コミュニティーセンターは、自分たちで何かをやりたいときに、使用料を払って、それに使える場所ということになります。今の公民館は特定の年代の方の利用が多くなっていますので、今後は広く多くの方に利用してもらえようしなければならないと考えています。以上、来年度から5年間のビジョンということでご説明いたしましたが、何かご意見などありましたら、本日、又は次回以降でも結構ですので、お聞かせいただければと思います。

大野委員

コミュニティーセンターと公民館の違いですが、コミュニティーセンターは施設が何かを企画して、みんながそれを利用する、公民館はその建物があるので、建物自体を利用するというのが、私のイメージなのですが。

教育長

本来公民館は、社会教育プログラムを用意して、それに参加したい人に来ていただくという場所です。ただ、現在はサークル活動の場となっています。それを否定するものではありませんが、本来サークル活動などは、コミュニティーセンターで行っていただくものです。また、公民館は営利目的には貸せませんが、コミュニティーセンターは貸すことができますので、使用料が必要ですが、いろいろな方に利用してもらうことができます。

大野委員

山県市には、まだコミュニティーセンターは無いということよろしいですか。

- 教育長 はい、まだありません。
- 大野委員 それと「麒麟がくる」ですが、以外と周知されていないように感じますが、もう少しPRの仕方を考えた方がよいのではないですか。
- 川田委員 私は美山中央公民館の歴史関係の講座に参加しておりますが、非常によい講座で、毎回いろいろな資料を提供していただいています。
- 千葉委員 大桑小学校では、大桑地区を見直そうということで、先生方が積極的に活動されているようです。
- 川田委員 先日の夏休み作品展の優秀者の発表では、大桑の歴史をいろいろな生徒が研究して、発表されていました。
- 大野委員 伊自良地区では、幟も少ないですし、あまり盛り上がってないように感じます。
- 千葉委員 市内でも地区によって温度差があるのかもせれません。
- 川田委員 春にありました、山県のよさ見つけましよう会では、大桑の史跡を廻りましたが、伊自良の方も参加されていたような気がします。史跡が大桑と美山にしかなくて、伊自良にはないというのも影響しているかもしれない。また、その会では「麒麟がくる」というよりは、土岐氏の歴史というのが素晴らしいというのを感じました。
- 教育長 その点は、是非PRしていただけたらと思います。それでは、時間もまいりましたので、教育長の報告については、これで終了とさせていただきます。では、その他について、何かございますか。何も無いようですので、以上をもちまして、本日の議事日程は全て終了いたします。これをもちまして、令和元年度第5回教育委員会を閉会いたします。

(正午 閉会)

上記議事録は正当であることを認め署名します。

山県市教育委員会 教育長 服部 和也

委 員 千葉 純